

(別紙4(2))

事業所名 グループホームありあけ

目標達成計画

作成日: 平成 22 年 7 月 30 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援の項目で 重度化・終末期にむけた方針を书面化し職員間での共有が望ましい。	職員間の学習会で知識の共有を測る	1. 各ユニットに於いて重度化の指針と週末期の指針の勉強会を行う	6ヶ月
2	8	権利擁護に関する制度の理解と活用の項目で 職員が「青年後見制度」「日常生活自立支援事業」について理解し、制度の活用が必要と認められる利用者と家族に対して情報提供を行えるよう、職場内での周知を図る事が望まれる。	職員間の学習会で知識の共有を測る	勉強会を行い知識を持つ	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。